

映画学科 教員募集（映画制作・プロデュース）

募集学科	芸術学部 映画学科
募集の経緯	当該分野を担当する教員の退職に伴う欠員補充のため、公募します
専門分野	映画制作・プロデュース
職位及び人員	准教授、講師 1名 ※任期制による採用となります
採用予定	2026年10月1日
任用期間	任期制による年度毎の契約（試用期間3ヶ月） 最大4回まで更新する場合がある（契約期間満了時の業務量・勤務成績、態度・能力、学園の経営状況等により判断） 任期を付さない専任教員への転換実績あり
勤務地	（雇入れ直後及び更新時）学校法人瓜生山学園 京都芸術大学 瓜生山キャンパス （変更の範囲）無
業務内容	（雇入れ直後及び更新時） 専門教育科目の授業担当、学生募集・入試業務含む学科運営、学生指導 本学の教員として、専門分野を生かした通学課程・通信教育課程・研究科等に関わる授業担当、運営業務、ほか学部長・研究科長が指定する業務 （変更の範囲）学園の定める業務
担当授業	「映画表現基礎」「映画表現応用」「映画制作入門3」「映画総合演習1」など（8・9コマ程度）
応募資格	1) 学士以上の学位を有すること、もしくはそれと同等の業績があること 2) 専門領域における、国内外での研究・実務業績、あるいは国内外での評価を受けた作品制作・公開実績を有すること 3) 本学の理念『京都文藝復興』に賛同していただけること 4) 学部・学科の教育方針を理解し、学科・コース運営、学生の進路・就職指導に責任を持って携わること 5) 採用後は、通勤圏内に居住し、本学勤務に専念できること
求める人材像、スキル等	1) 映画・映画業界において、映画制作（演出）・プロデュース領域全般に対する専門的能力・知識を持ち、豊富な実績や経験を有すること 2) 大学における高等教育に関心があり、情熱をもって分かりやすく丁寧に指導できる能力を有すること 3) 映画制作（演出）・プロデュース領域全般において今後の新たな展望についても見識や関心を持ち、学生の制作を有効に導くことができること
参考URL	建学理念 https://www.kyoto-art.ac.jp/info/philosophy/ ご応募の前に、『京都文藝復興』、『芸術立国』、『まだ見ぬわかもたちに』、『通信による芸術教育の開学にあたって』を必ずご一読ください。 学科紹介 https://www.kyoto-art.ac.jp/department/film/ https://www.kyoto-art.ac.jp/department/actor/ シラバス閲覧システム 【A-portal】 https://asm-ediea.com/kyoto-art/open/ja/syllabuses ※学科・科目名で検索をしますと、授業情報をご覧いただけます。

待 遇	給与	職務経験を考慮し、面接を経て職位決定のうえ、本学規定により決定
	諸手当	住宅手当 月額 15,000 円 (世帯主のみ) 家族手当 (1)満 18 歳未満の子/月額 10,000 円 (被扶養者のみ) (2)障害等級 1 級、要介護 3 以上/月額 5,000 円 (被扶養者のみ) 通勤手当 6ヶ月定期代 年 2 回支給 (限度額/月額 35,000 円) 超勤手当 有 (役職に応じて) 個人研究手当 年額 300,000 円
	賞与	年 2 回 (6 月・12 月*2026 年度予定)
	社会保険等	私学共済 (健保・年金) 加入 : 有 雇用保険 : 有 労災保険 : 有
	勤務時間	9 時 00 分～17 時 30 分(実働 7 時間 30 分) *時間割や業務により時差勤務の場合もあります
	休日・休暇	完全週休 2 日制 (土・日曜日)、国民の祝日 *学年暦により、土・日曜日、祝日出勤 (振替休日取得)の場合もあります 年末年始休暇 2026 年度/2026 年 12 月 29 日～2027 年 1 月 5 日 (予定) 有給休暇 有 (所定労働日数に応じた日数) *うち 5 日間は、指定期間に有給を計画的に付与します 育児休業および介護休業制度有、慶弔休暇および生理休暇有
	退職金	なし
その他	確定拠出年金制度、健康診断の実施、私学共済の契約施設の利用 (直営宿泊施設の利用や、百貨店・専門店などの利用割引、宿泊施設・厚生施設・スポーツ施設の利用補助等)、学費減免制度 (本学の教職員またはその扶養する子弟・配偶者が、本学に在籍している場合に減免あり) 受動喫煙対策あり : 敷地内禁煙 (屋外に喫煙場所設置)	

応募方法

提出書類 * 4種	1) 履歴書 ※ 本学指定書式あり ※ 写真貼付、連絡用のメールアドレス・電話番号を明記ください。										
	2) 業績書（過去5年間の研究・業務実績、活動歴） ※ 本学指定書式あり ※ 専門分野の業績は、5年に限らず特筆すべきものをお書きください。										
	3) 「映画制作（演出）・プロデュース領域から見た芸術大学における映画教育の可能性」について800～1,200字程度のレポート（A4判、書式自由）										
	4) ポートフォリオ（1冊程度） ※業績書の補足資料として、これまでのお仕事について画像などを用いて視覚的に捉えられるようひとつのPDFにまとめてください。										
	※ 1)、2)の本学指定書式は、JREC-IN 本学公募ページ（応募方法欄）からダウンロードいただけます。										
提出方法	JREC-IN を通じての WEB 応募になります。										
	1) 上記(1)～(4)の書類をPDF形式に変換 2) 4つのデータをひとつのフォルダにまとめて圧縮【圧縮：Zip形式/データ容量上限:30MB】 3) JREC-IN Portal からWEB応募してください										
	各書類のタイトルは、下記のとおり表記してください。										
	<table border="1"> <tr> <td>▼応募書類 PDF タイトル</td> <td>(タイトル表記例)</td> </tr> <tr> <td>(1) 履歴書 (氏名)</td> <td>(1) 履歴書 (瓜生山太郎)</td> </tr> <tr> <td>(2) 業績書 (氏名)</td> <td>(2) 業績書 (瓜生山太郎)</td> </tr> <tr> <td>(3) レポート (氏名)</td> <td>(3) レポート (瓜生山太郎)</td> </tr> <tr> <td>(4) ポートフォリオ (氏名)</td> <td>(4) ポートフォリオ (瓜生山太郎)</td> </tr> </table>	▼応募書類 PDF タイトル	(タイトル表記例)	(1) 履歴書 (氏名)	(1) 履歴書 (瓜生山太郎)	(2) 業績書 (氏名)	(2) 業績書 (瓜生山太郎)	(3) レポート (氏名)	(3) レポート (瓜生山太郎)	(4) ポートフォリオ (氏名)	(4) ポートフォリオ (瓜生山太郎)
	▼応募書類 PDF タイトル	(タイトル表記例)									
(1) 履歴書 (氏名)	(1) 履歴書 (瓜生山太郎)										
(2) 業績書 (氏名)	(2) 業績書 (瓜生山太郎)										
(3) レポート (氏名)	(3) レポート (瓜生山太郎)										
(4) ポートフォリオ (氏名)	(4) ポートフォリオ (瓜生山太郎)										
<table border="1"> <tr> <td>▼圧縮フォルダ タイトル</td> <td>(タイトル表記例)</td> </tr> <tr> <td>ローマ字氏名 (※半角)</td> <td>Uryuyama-Taro</td> </tr> </table>	▼圧縮フォルダ タイトル	(タイトル表記例)	ローマ字氏名 (※半角)	Uryuyama-Taro							
▼圧縮フォルダ タイトル	(タイトル表記例)										
ローマ字氏名 (※半角)	Uryuyama-Taro										
JREC-IN Portal URL https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?id=D126052054 ※ JREC-IN Portal から応募できない場合、データ容量（上限30MB）オーバーが疑われます。容量を30MB以下にご応募ください。											
提出期限	2026年7月22日（水） 必着										

選考方法

第一次 書類選考 : 選考結果は、可否に関わらず、応募締切後10日後程度にメールでご連絡します



第二次 面接、模擬授業 : 一次通過者のみ、京都 瓜生山キャンパスにて2026年8月3日（月）に実施いたします。



第三次 面接 : 二次通過者のみ実施

※ 選考結果に関する通知はJREC-INに登録のメールアドレスまたは履歴書に記載されている携帯電話番号にご連絡いたします。

※ 応募データは選考に係る事由にのみ使用し、選考終了後は当方で責任を持って処分いたします。

※ 天災等やむを得ない事態が生じた場合、日程変更の可能性があります。

【お問い合わせ】平日 9:00-17:30 (※土日祝は休み)

TEL : 075-791-8301 (総務課直通)

e-mail : saiyo@office.kyoto-art.ac.jp

以上